



運営委員会だより

大宮小学校 P T A

◆ 第2回 ◆

開催日 平成28年 6月27日

発行日 平成28年 6月27日

◆ PTA会長あいさつ

平山 健介 会長

6月14日にPTAとしてアルミ缶の回収を実施しました。これは大宮区内の小中学校PTAの合同の取組みでして、アルミ缶をリサイクルし、その収益金を被災地に寄付をしております。今までは岩手の大槌町にある小中一貫の大槌学園に寄付をしておりましたが、校舎も完成したことから、今年からは、先般あった大地震により被災した熊本のPTAに寄付する計画でございます。アルミ缶回収の収益金は直接、熊本のPTAに渡します。どう使われたかもきちんと報告がありますので、ぜひ皆様のご協力をお願いします。毎月第4金曜日が収集日です。7月、8月は夏休み中ですので、今回は9月23日となります。

さて、夏休みまであと1ヶ月を切りました。そして夏休みが始まると、すぐにお祭りです。今年も8月1日が氷川神社の例大祭です。氷川神社は官幣大社であり、明治神宮や出雲大社、熱田神宮と同格で最も格式ある神社です。そして我々の住む地区は氷川神社のおひざ元ですので、ぜひ、地域の方と触れ合う良い機会でもありますので、各自治会、子供会を通して夏のお祭りを楽しんで頂ければと思います。3世代交流の貴重な場となりますので、積極的な参加をお願いします。

◆校長あいさつ

西川 和利 校長

会長のご挨拶にもありましたが、子どもたちが楽しみにしている夏休みもうすぐです。

昨年も各地域のおまつりの様子を見て回りましたが、子どもたちが役員の皆様とともに楽しくおみこしを担いでいる姿を見ていいものだなと感じました。今年も楽しみにしています。土曜日に大宮東中学校の体育祭に行ってきました。この春に卒業生した1年生の全力で走る姿を見て、元気に中学校生活を送っている様子を嬉しく思いました。中学3年生と比べるとまだまだ小学生の面影が残っています。これから成長していく姿が楽しみです。

今学期の学校行事や各学年の教育活動も、今のところ、お陰様で予定通り実施できております。あとは5年生の「みどりの教室」を残すのみとなりました。

さて、ここにきて危機事案が発生しています。安全・安心メールでもお知らせしましたが、下校時に声をかけられる事案、関係者を名乗って巧妙に電話番号を聞き出す事案です。声掛け事案については、翌日に校内テレビ放送で、外出時には防犯ホイッスルを必ず身に付けること、危ないと感じたら「子どもひなん所110番の家」や近所の人に駆け込んで助けを求めることなど指導しました。夏休みを控えご家庭でも注意をお願いします。

また、市内では「流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）」が流行注意報レベルとなっています。市内では過去5年で最も多くなっています。「溶連菌感染症」も多く発生しているようです。予防のために、手洗い、うがい、せきエチケット、体調不良時の早めの休養にご留意ください。暑さも本番を迎えます。お子様の体調管理をよろしく願いいたします。

*** 議 事 ***

◇絆缶（アルミ缶）回収について

絆缶回収にご協力いただきまして、ありがとうございます。2学期は9月・10月・11月の第4金曜日に回収します。

前年度までは岩手県の大槌学園への支援としていましたが、今年度より熊本地震の義援金への移行を検討中です。

◇夏休みについて

夏休み地域の行事（ラジオ体操・夏祭り・子ども会など）にぜひ参加ください。

《活動報告・各学年》

《6年》 卒業を祝う会のアンケート集計中です。

《5年》 6/11 みどりの教室の費用の集金・集計をお手伝いしました。
(公開授業説明会)

《4年》 特になし

《3年》 特になし

《2年》 特になし

《1年》 特になし

《みやのこ》 特になし

●次回開催●
第3回 9月12日(月)
10:00~ 第二会議室

《 活動報告 》

本 部

- 5/16 第1回運営委員会
同日 中部地区社会福祉協議会総会
- 5/20 防犯ボランティア連絡協議会総会
- 5/25 青少年育成さいたま市民会議第1回運営委員会
- 5/26 大宮区連合会定期総会・懇親会
- 6/2 大宮区連合会第1回役員会
- 6/3 あおぎり会例会
- 6/6 第1回学校評議員連絡協議会
- 6/11 JRC 登録式
同日 青少年育成中部地区会総会
- 6/14 アルミ缶業者引渡し
同日 大宮区連合会副会長会
- 6/18 さいたま市PTA協議会定期総会・懇親会
同日 第2回中部地区体育施設開放運営委員会
- 6/25 大宮東中学校体育祭
同日 青少年育成さいたま市民会議本部総会

総 務 部

- 5/16 部会 ベルマーク当番表作成、部内係決め
- 6/7 ベルマーク講演会出席
- 6/24 第1回ベルマーク集計・発送

文化安全指導部

- 6/20 部会
- 6/29 第1回学校保健委員会 事前確認
同日 夏休みカーテン洗濯活動に向けての準備作業
防犯パトロール実施状況の確認
- 7/4 地区懇談会準備作業

広 報 部

- 5/17~6/24
広報部集まり 5回(部会各班ごと)
撮影 11回(5/17~6/24 まで)
7/19(火)のあおぎり323号の発行に向けて活動中です。

「副会長連絡会」報告

PTA 副会長 尾嶋 晃子

去る6月14日、大宮区の小・中学校の副会長が集まる『大宮区連合会 副会長連絡会』に参加し、『親子支援プログラム』の講義を受けてまいりました。

この『親子支援プログラム』はさいたま市独自の事業として平成20年に始まり、親と子のコミュニケーションの充実を図るべく、保護者の対象に実施しているものです。

社会の急激な変化により、子どもたちの家庭内外における過ごし方や他者とのかかわり方にも大きな変化が起こっています。さいたま市では人と接する際に必要な態度、感情のコントロールの仕方などを学ぶ『人間関係プログラム』の授業を市立全小・中学校(小学3年生から中学1年生)で実施しています。

最近、親が子どもとの接し方がわからず、子どもとの人間関係をうまく築けないケースが見られます。そこで親が子どもの話をよく聴き、感じたことを伝えて認め、子どもに問いかけることで子どもが自発的に答えを出し、行動が出来るよう促すための『コーチング』というコミュニケーション技法を学んでまいりました。会話における子どもへの言葉がけで気を付けるポイントは「ダメ」「でも」「違う」などの否定的な言葉を避ける、子どもに「うん」「ううん」など、ひと言で答えられるような質問をしないということです。

しかし日頃子どもと接していると、頭ではわかっている、忙しいからといって子どもの話を聞かなかったり、子どもの目を見て話さなかったり、子どもと向き合っていないことが多いと思います。この『親子支援プログラム』で得たコミュニケーションスキルを少しずつ親子の会話の中で意識しながら実践していこうと思いました。そしてこのプログラムが多くの保護者の方々にも広まって、よりよい親子関係・豊かな人間関係を築いていけたら素敵なことだと思いました。

「先生のショートスピーチ」

上村 朗

もうすぐ夏休み。照り付ける日差し、きらめく水面、響き渡る蝉の声に冷たいかき氷…大宮小の子どもたちは、夏休みが来るのを今か今かと待ちわびているようです。かつての上村少年も夏休みが早く来るのを強く願う一人でした。

秋田市で育ち、とにかく外で遊ぶことに人生の全てをかけていた上村少年。夏休みが始まると、朝から早速「あの場所」へ。そこにはいつものメンバーが当たり前のように集まりました。リーダーに6年のた

かひろ君、先輩にジョー君、とおる君、けんご君、後輩にひとしにつかさ、こうへい。学校も学年もクラスも違うメンバーでした。「あの場所」とは、ジョー君の家の前にある空き地で、ジョー君の苗字が「越後」だったことからついた通称「越後球場」。東京ドームが、野球場にも、コンサート会場にも、アメフトの試合にも変化するように、わたしたちにとっての聖地・越後球場は、野球はもちろん、ゴルフ場にもサッカー場にも昆虫館にも変化しました。(冬はスキー場や雪合戦場にも)

当時は野球全盛期。リーダーのたかひろ君が「千代田ジャガーズ」を旗揚げし、越後球場での練習が終わると隣の野球チームと試合。試合が終わると、全員が自転車で移動し、また、別の町の野球チームと試合。ユニフォームも帽子もなかったけれど、手作りのチームの旗を振りかざしていたものでした。他にも、かくれんぼ(当時はバイオという意味不明の名前)、虫取り、草ゴルフ、チャンバラ、秘密基地に探検と、何でもやりました。

それだけ外で遊びまくっていたわけですから、夏休みの上村少年はとにかく黒くて汚い。父親はあまりの汚さに、風呂に入ると私の体を亀の子たわしでこすっていました。また、夏休み明けの学校で開かれた「くろんぼ大会」では準優勝を獲得。私から優勝を奪ったのは水泳少女の伊藤さんでした。

盆踊りも楽しかったなあ。いつものメンバーはもちろん、大好きな近所のおじさん、おばさん、お兄さん、お姉さんみんなが集まりました。闇夜に光る提灯と「月が出た出た…」炭坑節の音色、みんなの笑い声に時折響く子どもたちを叱るおじさんの怒号…いやあ、楽しかった。

もうすぐ夏休み。我が家の小学生の長男長女は、今年から祭りの太鼓を始め、週に1回公民館で練習に励んでいます。小さな次男も音に合わせて楽しそうに踊っています。

皆さんにとって、思い出に残る夏休みでありますように…